

特集 2010北東アジア経済発展国際会議(NICE)イン新潟 プログラム

開催日 2010年1月25日(月)～26日(火)

会場 朱鷺メッセ(新潟市中央区)

主催 北東アジア経済発展国際会議実行委員会(新潟県、新潟市、ERINA)

後援 外務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、新潟大学、駐日中華人民共和国大使館、駐日モンゴル国大使館、駐日大韓民国大使館、駐日ロシア連邦大使館、社団法人東北経済連合会、社団法人新潟県商工会議所連合会、新潟経済同友会、日本海沿岸地帯振興連盟、財団法人にいがた産業創造機構、社団法人新潟青年会議所、日本貿易振興機構(ジェトロ)、新潟日報社、毎日新聞社、産経新聞社、朝日新聞社、日本経済新聞社、読売新聞社新潟支局、共同通信社、時事通信社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、NST、TeNYテレビ新潟、UX新潟テレビ21、NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO

参加者 約310名(うち日本人約220名、外国人約90名)

■ 開会・特別講演・基調講演(1月25日(月) 15:00～18:00 朱鷺メッセ4階マリンホール)

あいさつ

◇ 歓迎あいさつ

新潟県知事

泉田裕彦

新潟市長

篠田昭

◇ 来賓あいさつ

外務省大臣官房審議官

井出敬二

経済産業省通商政策局通商交渉官

村永祐司

特別講演

黒龍江省人民政府副省長

于莎燕

基調講演

世界金融危機、気候変動会議COP15という国際社会における重要なターニングポイントを捉え、それぞれの面から北東アジアとの関係を論じ、会議全体の基調報告とする。

「世界金融危機と北東アジアにおけるサブ地域経済協力」

アジア開発銀行研究所(ADB) 所長

河合正弘

「京都議定書と北東アジア」

Climate Business Network(CBNet) 代表

ピーター・ペムブルトン

■ 分科会A: 北東アジア・シームレス物流(1月26日(火) 9:00～12:00 朱鷺メッセ中会議室301)

北東アジア輸送回廊におけるシームレス物流の諸動向、課題を整理し、多国間協力による整備・促進策の提案を行う。

◇ 基調報告

UNDP大図們江イニシアチブ事務局長

ナタリア・ヤチェイストワ

ADB)所長特別顧問

ビスワ・バタチャリア

◇ 事例報告

日本貨物鉄道ロジスティクス本部国際物流開発部部長代理

池田明元

ERINA調査研究部研究員

辻久子

■ 分科会B: ポスト京都議定書時代の環境・エネルギー協力(1月26日(火) 9:00～12:00 朱鷺メッセ中会議室302)

コペンハーゲンCOP15の結果を踏まえ、北東アジアにおけるこれからの環境協力、省エネルギー協力の道筋を展望する。

◇ コーディネーター

一橋大学大学院経済学研究科教授

寺西俊一

◇パネリスト

中国国家發展改革委員会エネルギー研究所副研究員
 モンゴル自然環境観光省クリーンテクノロジー・科学部長
 韓国エネルギー管理公団排出削減登録センター政策研究員
 ロシア天然資源環境省・水理気象環境局気候変動課長
 日本カーボンファイナンス特別顧問

鄭爽
 A. エンフバット
 オ・テギョン
 ディナーラ・ゲルシンコワ
 田中弘

◇コメンテーター

外務省大臣官房審議官
 ロシア外務省国際機関部副部長
 Climate Business Network (CBNet) 代表

井出敬二
 アレクサンドル・バンキン
 ピーター・ペムブルトン

■ 分科会C：国際食料産業クラスターと新潟（1月26日（火）13：30～16：30 朱鷺メッセ中会議室301）

世界のクラスター事例、中国黒龍江省の事例などを参考に、新潟における国際力両産業クラスター形成の効果と課題を提起する。

◇基調報告

ジョージ・メイソン大学研究・経済開発担当副学長
 黒龍江省農業科学院総農芸師

ロジャー・ストー
 矯江

◇事例報告

鹿児島大学農学部准教授
 （代読：ERINA調査研究部研究員）
 筑波大学大学院生命環境科学研究科研究員
 新潟大学農学部教授

李哉ヒョン
 朱永浩
 阿久根優子
 木南莉莉

■ 分科会D：世界金融危機後の北東アジア新潮流（1月26日（火）13：30～16：30 朱鷺メッセ中会議室302）

世界金融危機後の北東アジア各国・地域の経済・金融状況や世界経済との関係を概観し、これからの経済の潮流を探る。

◇モデレーター

三菱商事顧問

野崎茂

◇報告

筑波大学システム情報工学研究科准教授
 みずほ総合研究所政策調査部主任研究員
 モンゴル前ゾースバンク最高執行責任者
 遼寧社会科学院世界経済研究所所長
 富士通総研経済研究所主席研究員

高安雄一
 金野雄五
 B. ツォルモン
 金哲
 柯隆

◇コメンテーター

外務省大臣官房審議官

井出敬二

■ 総括・閉会（1月26日（火）16：45～17：45 朱鷺メッセ中会議室201）

◇分科会報告

分科会A：ERINA調査研究部長代理
 分科会B：一橋大学大学院経済学研究科教授
 分科会C：ERINA調査研究部長
 分科会D：三菱商事顧問

新井洋史
 寺西俊一
 中村俊彦
 野崎茂

◇総括コメント

北東アジア経済発展国際会議実行委員長

吉田進

本特集は、「2010北東アジア経済発展国際会議イン新潟」の内容を当日の録音及び資料をもとにまとめた。関係各国名は中華人民共和国を中国、朝鮮民主主義人民共和国を北朝鮮、モンゴル国をモンゴル、大韓民国を韓国、ロシア連邦をロシアとそれぞれ表記した。